

野崎 豊 (ノザキクリニック院長)

○松山善之助 (兵庫県立中央農業技術センター)

山本 晃一 (同 上)

【目的】 特産大豆、丹波黒は、おいしいばかりでなく煮汁の飲用が喉によいと云われてきた。また、漢方文献では豆には五色あるが黒豆のみに薬効があり腎によいとされ、この場合の腎は腎以外に副腎を意味する。一方、科学論文では黒豆を素材にした報告は皆無で、ほとんど白(黄)大豆を対象とし疾病治療に効果があると報告している。そこで丹波黒を素材として漢方理論に基づき臨床治療を試みた結果、予期した以上の効果を認めた。

【方法】 来訪する患者に黒豆煮汁の飲用を行い治療効果をみた。高血圧患者には50gの丹波黒を軽く洗い、水500CC程度に5~12時間浸漬、さらに水1ℓ程度を加え20~30分沸騰させる方法で煮汁を作らせた。糖尿病患者には、8分程度の短時間低温の熱処理した煮汁をすすめた。飲用法は朝晩、もしくは毎食後上記の量を2日間で飲用するように指示した。

【成績】 20名に高血圧、3名に血糖値の、CPK値の低下がみられた。表は血圧、血糖値の改善症例(抜粋)であり、CPKでは飲用前324U/Lが飲用7日で176U/Lと低下した事例等多数がある。

表 代表的症例(抜粋)

| | 患者 | 年齢 | 使用法、期間 | 使用前 | 使用后 |
|---|-----|------|-----------|---------|---------|
| 高 | N.K | S 23 | 煮汁、14 | 180/100 | 130/81 |
| 血 | M.N | S 24 | 黒豆皮煮汁、60 | 142/92 | 128/82 |
| 圧 | M.Z | S 14 | 煮汁と煮豆、180 | 142/102 | 128/86 |
| 血 | S.J | S 18 | 煮汁と煮豆、60 | FBS 156 | FBS 71 |
| 糖 | S.K | T 9 | 煮汁、60 | FBS 142 | FBS 132 |
| 値 | T.T | S 21 | 煮汁と煮豆、30 | FBS 248 | FBS 129 |

【結論】 丹波黒を用いて黒豆の効能を臨床応用した結果、血圧、血糖、CPK値に改善がみられた。作用機序として必須脂肪酸、フラボノイド等の有効成分の働き、ミネラルを含む栄養バランス改善効果、植物エストロゲン物質の機能、トリプシンインヒビタ等による体内代謝改善の他、血液粘濁度に改善効果等が総合的に働いた結果と考えられる。